

あなたの未来を強くする



住友生命は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

育てあい、
支えあって、20年。

大賞 100万円

子育て支援活動の表彰

- 【対象】 地域において子育て環境づくりに取り組む団体や個人
- 内閣府特命担当大臣賞 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
文部科学大臣賞 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
スミセイ未来大賞 表彰盾、副賞100万円(2組程度)
スミセイ未来賞 表彰盾、副賞50万円(10組程度)

最大 200万円

女性研究者への支援

- 【対象】 子育てと人文・社会科学分野の研究活動の両立に努力されている女性研究者

スミセイ女性研究者奨励賞

..... 助成金として1年間に100万円(上限)を2年間まで支給(10名程度)

ただいま募集中!

締切り
2026年9月7日(月)



第20回
スミセイ
未来を強くする
子育てプロジェクト

宛先・お問合せ先
「スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト」事務局
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-1-6 佐藤ビル3F
電話: 03-3265-2283(平日10:00~17:30)
主催: 住友生命保険相互会社
後援: 文部科学省 / こども家庭庁



お届けしたのは



2026年6月
ソーシャルコミュニケーション室
作成

スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト 検索

子育て支援活動の表彰

より良い子育て環境づくりに取り組む
団体や個人を表彰します。

表 彰

内閣府特命担当大臣賞 …… 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
文部科学大臣賞 …………… 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
スミセイ未来大賞 …………… 表彰盾、副賞100万円 (2組程度)
スミセイ未来賞 …………… 表彰盾、副賞50万円 (10組程度)

必要資料

- ① 応募用紙(webサイトよりダウンロード)
- ② 活動の様子がわかる写真
- ③ その他の活動内容がわかる資料
(パンフレットなど)1、2点



女性研究者への支援

子育てと人文・社会科学分野の研究活動の両立に
努力されている女性研究者を支援します。

表 彰

スミセイ女性研究者奨励賞 …… 10名程度
助成金として1年間に100万円(上限)を2年間まで支給します。
助成期間は2027年4月から2029年3月までの2年間の予定です。

必要資料

- ① 応募用紙(webサイトよりダウンロード)
- ② 最近の論文など、1、2点
※資料の点数は審査の対象になりません。
資料類は角2版封筒(A4版が入る大きさ)に
入る程度の量とします。



募集期間、応募方法、選考などについて

募集期間 2026年7月6日(月)～2026年9月7日(月)必着

応募方法 「スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイトで
募集要項をご確認のうえ、応募用紙を
ダウンロード・ご記入いただき、必要資料と一緒に送ってください。
※応募用紙は片面印刷とし、ホチキス止めはしないようお願いします。

選 考 事務局による選考の後、「スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト」
選考委員による選考会を経て、受賞者を決定します。

発 表 受賞者は、2027年3月に都内で実施予定の表彰式*
および「スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト」の
webサイト等で発表します。
受賞者には2027年1月末までに直接ご連絡します。
※表彰式は、開催日時点の社会状況によって、実施内容を変更する可能性があります。

選考委員

選考委員長
汐見 稔幸 [東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長]
選考委員
大日向 雅美 [恵泉女学園大学学長]
奥山 千鶴子 [認定NPO法人びーのびーの理事(会長)]
米田 佐知子 [子どもの未来サポートオフィス代表]
以上五十音順
藤本 宏樹 [住友生命保険相互会社 常務執行役員]

個人情報の取扱い 応募者の個人情報は、審査および運営
に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切あ
りません。応募者の同意なく、利用目的の範囲を越えて利用
することはありません。

受賞団体・受賞者のご紹介

第19回(2025年)
[子育て支援活動の表彰] 内閣府特命担当大臣賞

特定非営利活動法人
子どもソーシャルワークセンター
滋賀県大津市



言葉にならない「しんどさ」を
感じている子どもに寄り添う

私たちはソーシャルワーカーとして、さまざまな
「しんどさ」を抱える子どもたちに寄り添ってき
ました。家庭的な雰囲気の中で子どもたちと過
ごしながら、心の平穏を取り戻せるよう努めて
います。家庭の状況に応じて夜の居場所「トワイ
ライトステイ」も開設しています。

第19回(2025年)
[子育て支援活動の表彰] 文部科学大臣賞

特定非営利活動法人
維新隊ユネスコクラブ
東京都新宿区



学びと食で子どもを支える
学習支援活動を全国に広げる

経済的困難など家庭の事情で学びの機会を得
にくい子どもたちのために、週1回大学生が講師
を務める食事付きの学習支援活動を展開して
います。授業のない日は自習室として開放。近年、
トレーラーハウスを活用した移動型教室を開発
し、全国展開を目指しています。

第1回(2007年)
[スミセイ女性研究者奨励賞]

旦 直子(ダン ナオコ)
帝京科学大学 教育人間科学部
教授



研究員時代は育児休業制度も整っておらず、夫
の単身赴任も重なり、3人の子育てと研究の両
立に奔走する日々でした。子育て支援が十分で
ない中、助成金でベビーシッターを利用できた
ことに加え、女性研究者を応援してくださる存
在そのものが大きな支えとなりました。現在も
子育ての負担は女性に偏りがちですが、周囲の
力も借りながら、無理をせず研究者としての歩
みを大切にしていってほしいと願っています。